



「鴨川を中心にみんながつながるまちづくり」を目指して

鴨川まちづくり ミーティング

鴨川とまちがつながっていくことで、人と人がつながる。人とまちがつながる。自然につながる。くらしにつながる。未来につながる。そんなまちづくりを目指して、有識者によるパネルトークや参加者によるグループワーク等を開催します。

なお、当日は、令和6年1月に三条大橋南側で実施した「鴨川あかりの実証実験」の内容についても取り上げます。ぜひ御参加ください！

日時

2024.2.19

月

(17:30 受付開始)

18:00 ~ 20:30

終了予定

会場

QUESTION (クエスチョン) 4階 Community Steps/ROOM1・2

(〒604-8006 京都市中京区河原町通御池下 下丸屋町 390-2)

参加費

無料

申込

事前申込制 (先着 50 名)

プログラム

1 パネルトーク 2 グループワーク 3 トークセッション

※詳細は裏面をご確認ください。

申込はこちら



<https://forms.office.com/r/p98byKcsp6>

1
パネルトーク

18:00

テーマ：鴨川を中心としたまちづくりの可能性について



<登壇者①>

長町 志穂 氏 株式会社 LEM 空間工房代表取締役 / 京都芸術大学 客員教授

京都工芸繊維大学工芸学部卒業。照明デザイナー。神戸市都市景観審議会委員を務める。グッドデザイン賞、照明学会照明デザイン賞最優秀賞、土木学会デザイン賞最優秀賞等を受賞。実績に、「メリケンパーク照明改修、海洋博物館ライトアップ(神戸市)」「なんばひろば、堂島大橋(大阪市)」「水木しげるロード(堺港市)」「長門湯本温泉観光まちづくり(長門市)」等。



<登壇者②>

山口 敬太 氏 京都大学大学院地球環境学堂 准教授

2009年京都大学大学院工学研究科博士課程修了後、2009年に同研究科助教、2017年に同准教授を経て現職。専門分野は景観・デザイン、まちづくり。京都市の歴史的景観アドバイザーや都市緑化審議会委員等を務める。土木学会賞論文奨励賞、日本建築学会奨励賞、日本都市計画学会年間優秀論文賞等を受賞。著書に、「日本風景史」(共編著、昭和堂)、「まちを再生する公共デザイン」(共編著、学芸出版社)等。デザイン実践に「中之島通歩行者空間整備(大阪市)」等。

テーマ
(予定)

『鴨川まちづくり』とは??参加者同士で意見交換し、鴨川を中心としたまちの将来像の実現に向けてみんなで考えよう!!

2
グループワーク

パネルトークとグループワークを踏まえ、京都・鴨川を中心としたまちの魅力づくりについて、登壇者がセッションします。

3
トークセッション

20:30



<ファシリテーター>

野村 恭彦 氏

Slow Innovation 株式会社 代表取締役 /
金沢工業大学 (KIT 虎ノ門大学院)
イノベーションマネジメント研究科 教授

慶應義塾大学大学院理工学研究科 開放環境科学専攻 後期博士課程修了。富士ゼロックス株式会社 入社後、2000年に新規ナレッジサービス事業 KDI を自ら立ち上げ、シニアマネジャーとして12年にわたりリード。2012年6月、企業、行政、NPOを横断する社会イノベーションをけん引するプラットフォームとして、株式会社フューチャーセッションズを立ち上げ、2019年10月、Slow Innovation 株式会社を設立(現代表取締役)。著書に、「サラサラの組織」(共著/ダイヤモンド社)、「裏方ほどおいしい仕事はない」、「フューチャーセンターをつくろう」、「イノベーション・ファシリテーター」(ともにプレジデント社)等。

会場
マップQUESTION ※専用駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください
(〒604-8006 京都市中京区河原町通御池下る下丸屋町 390-2)

出所：QUESTION (クエスチョン) HP より

申込

右記2次元コードより申送ください

<https://forms.office.com/r/p98byKcsp6>

【定員】先着 50名

【締切】2月13日(火)正午まで

※2次元コードより申込ができない方は、以下事務局までお問い合わせください

※申込者数が定員に達し次第、受付を終了します

※ご提供いただいた個人情報は、主催又は事務局が本イベントの運営においてのみ使用し、事務局においてその保護に万全に期すとともに、ご本人の同意なしに主催・事務局以外の第三者に開示、提供することはありません



お問い合わせ

■鴨川まちづくりミーティング受付事務局
(株)地域計画建築研究所(アルパック)

【担当】山口・中井

【TEL】075-221-5132(営業時間：平日9時~17時)

【MAIL】yamag-ti@arpak.co.jp